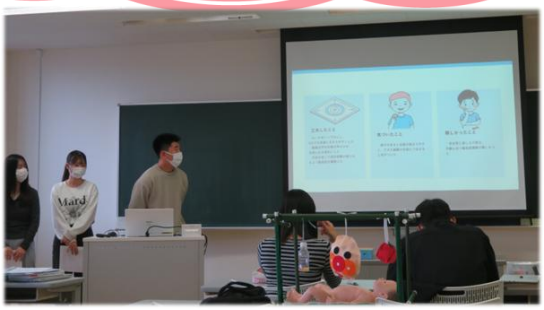
● 5/11（月）1限　小児看護援助論Ⅱ
「あそびを用いたコミュニケーション」



学生が先生デス

力作ぞろい

さまざまな年齢の子どものおもちゃを作成し、その年齢の子どもの物の見方や運動機能、ことばや物事がどこまでわかるのか、こころの特徴も含めて学生が解説を行いました．そして、発達に応じたコミュニケーション方法のポイントやそのあそびにどんな意図があるのか、実演も交えて1グループ15分で授業を行ってもらいました。充実した配布資料は、実習や国家試験のつよ～い味方に！

10か月女児

牛乳パックで作成
頭側からボールを入れると
チリン♪と音が鳴るよ

● **おもちゃの作成意図（配布資料より）**

- **つまむ・握るなどの手指の巧緻性の発達**
- **「入れると出てくる」という因果関係の理解**
- **遊びの繰り返しから（次もこうなるはず）といった予測する力や自分でもう一度やりたいという主体性の発達**
- **親子のコミュニケーションを促進する**

４か月女児

ベビージム

文献も
たくさん活用

赤ちゃんの目線も確かめながら・・・
安全は最優先に！

● **コミュニケーションのポイント（配布資料より）**

・赤ちゃんがおもちゃに手を伸ばすまで焦らず待つ。

・赤ちゃんの「あー」「うー」に真似して応答する

・静かな時間も大切にし、刺激を与えすぎない　など

２才男児

積み木パズル

パックを
集めたくて
たくさん
ジュースを
飲みました

● **おもちゃの作成意図**
（配布資料より）

・パズルを「持つ」
「積む」といった
微細運動を促す

・4つでひとつの絵になることから
部分と全体の空間認知を育てる　など

8歳男児

コイン飛ばしゲーム

おとなも盛り上がってしまう面白さ！

● コミュニケーションのポイント（配布資料より）

・８歳児はルールは理解できるが、説明を行う際の表現内容が複雑すぎると混乱することもある。説明は短く、具体的に伝え、実際に説明したことをやってみせるとよい。

・競争心が高まる一方で、負けた時に感情的になることも。勝ち負けだけではなく「楽しさ」を強調する。

・この時期は自尊感情が発達する時期なので、「今の上手！」等の声かけをおこなうことでやる気や集中力の向上にもつながる。

・友人関係が発達する時期。大人が介入しすぎないことも大切。子ども同士の関りを引き出す。

学生の感想より

・グループでいろいろな文献や子どもの遊ぶ動画を見てみた。たくさんの文献を調べていくうちに教科書には書いてないような詳しいことまで学習することができた。

・年齢・発達課題に応じたおもちゃのつくりや素材選び、色合い、そこから得られることがグループによって違っていて、着眼点や工夫の仕方によって子どもへの成長につながるさまざまな刺激になることがわかった。